理事長挨拶

平素は私ども（社）因島青年会議所の運動・活動に深いご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。また昨年度、当青年会議所は1968年の創立以来、40周年の節目の年を迎えました。これも偏に、長きに亘り私ども青年会議所運動・活動を支えていただいた地域の皆様の深いご理解と多大なるご支援、ご協力の賜であり、厚く御礼申し上げます。

さて、現在私たちを取り巻く社会・経済状況は決して明るいものでなく、我われ青年会議所の目標である「明るい豊かな社会の実現」に向けては、より一層の努力が必要と感じております。

2008年度、スローガン『伝ーJCのココロ、JAYCEEのチカラー』を掲げ、一年間取り組んでまいりました。近年、「少数精鋭でがんばってるね」「すごいね、その人数で」など周りの方々から応援していただいておりますが、会員の減少は、事業の硬直化、組織の活力低下を招く重要且つ緊急の課題と捉えています。幸い、昨年度10名の新入会員を迎え入れることができました。先輩諸兄が積み重ね、引き継いできた（社）因島青年会議所の誇りと良き伝統、何より若者として失敗を恐れないチャレンジ精神を、きちんと次世代へ伝える義務が我々にはあると考えます。そして、こうした会員の資質（意識）向上は、本青年会議所の、ひいてはこの地域の発展へと繋がっていくものと確信しています。

昨年は年間を通して、青年会議所メンバーとして必要とされる手法の習得や資質向上を目的としたセミナーを数多く開催しました。加えて、一市民として、そして次代を担うオピニオンリーダーとしての自覚を促すことを目的に、「裁判員制度」や「日本国憲法」についての勉強会（例会）を開催しました。

また、地域の方々と直に接するまちづくり事業は、我われメンバーにとって、JCという団体を客観的に見られると同時に、地域の方々にとって、JCをより身近なものとして感じられる大切な事業であると考えます。昨年6月には地域の皆様との協同事業として、また、健全な精神を育む青少年育成事業として、中庄八幡宮永代奉納相撲協会、因島相撲同好会並びに関係者の皆様方のご協力を得て「第3回わんぱく相撲因島場所」を開催しました。本年度も全国大会（東京両国国技館）へ向け、多くのわんぱく力士の参加を募集します。皆様のご参加、心よりお待ちしています。

終わりになりますが、昨年12月、本会議所創立40周年記念事業として、アメニティ公園内に4本のだれ桜を植樹すると共に、その周辺整備（造園）をメンバー自ら行いました。この春には少ないながらも、きっと花を咲かせることと思います。そして我々（社）因島青年会議所は、これからも〝JCだからこそ〟の気概をもって、地域に期待される団体として、その運動・活動に邁進していく所存でございます。

今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

（社）因島青年会議所
理事長　岡野淳平

卒業生挨拶

寺西俊雄

私が、（社）因島青年会議所に入会した1997年から12年間の月日が経ちました。今年で40歳になり、人生の約三分の一の時間をこの会に所属させて頂きました。本会に入会して良い点・悪い点をご紹介しましょう。入会して良かった点は、1995年に会社を立ち上げ、右も左も分からない私でしたが、青年会議所を通して多くの方と知り合う機会を与えてもらい、多くの先輩方並びに各青年会議所の立派な方々とお会いしお話をする事で自分に足りないものを見つけさせてもらいました。それにより自分自身をより良い方向へ変える事が出来ました。しっかりとしつらえて（準備）、おもてなしの心をもって人に接する重要性を教えてもらいました。入会して悪かった点は、時間が取られることでしょうか？但し、悪かった点も青年会議所で一生懸命勉強し努力したメンバーにとっては、時間の効率的な使い方をうまく学ぶことが出来たので結果としては、プラスの効果として身に付いています。時間をフル活用しているナイスなJCマンを私は、知っています。

私の各時代を支えてくれた名言（座右の銘）を紹介したいと思います。

10代の名言　少学校6年生の時の校長先生の言葉で『あいならんことは、あいならん。』いけない事は、いけないと正直に生きることを教えて頂きました。

20代の名言　大学時代の恩師の言葉で『初心、忘るべからず。』結婚生活には、山あり谷ありである結婚生活で悩んだ時には、もう一度、結婚しようと想った時の最初の気持ちに戻りなさい。そうすれば良い答えが出てくると教えて頂きました。

30代の名言　ドイツの哲学者ゲーテの言葉で『財産を失ったのはいくらかを失った事だ。名誉を失ったのは多くを失った事だ。勇気を失ったのは全てを失った事だ。』このゲーテの言葉で『勇気』を頂きました。その結果、名誉ある理事長職までさせて頂きました。

40代の名言　テレビドラマの中の言葉で『ある事業があるとして、自分に出来るか？出来ないか？を判断するのではなく、自分がその事業をやりたいか？やりたくないか？を判断しなさい。』この言葉を思い出しながら、これからの人生を更に勉強しながら楽しみながら、ゆっくり前進したいと想います。

最後に青年会議所とは、『地下を流れる水のごとくあれ』という言葉がありますが、この言葉は、半世紀前に他の青年会議所の方が話されたと聞きます。その意味は、各地域に『青年会議所』は無くてはならない存在であり、いつも縁の下の力持ちのような存在であれと解釈しています。この言葉を噛みしめて、（社）因島青年会議所の現役メンバーの皆さんが、しっかりと修練し、すばらしい能力をこの地域で発揮される事を期待します。

新 理事長挨拶

村上英太郎

2009年度は「new one！一粒万倍」をスローガンに揚げて活動・運動を展開してまいります。一粒万倍とは一粒の籾から万倍の稲穂を収穫するという〝選日〟のひとつです。籾は時期を待って蒔かなくてはなりませんが「まちづくり」、「ひとづくり」の〝新しい一粒の籾＝new one！〟は、常に蒔き続け万倍の豊作を夢見ることが必要と考えています。本年もこの地域に一粒でも新しい籾を蒔き、明るい豊かな未来へつないでいくことを目指していきます。

皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

各委員会事業報告

総務会員委員会
委員長　岡本哲博

一年間を通じて主に会員拡大と会員が円滑なJC活動が行なえる様、迅速な総務処理を心がけました。会員拡大では10名のパワー溢れる会員が入会し、より活発的な因島青年会議所の活動を通じて地域に貢献できる土台づくりとなる年と成りました。

また4月例会では時間について全員で真剣に考える事を議題に、タイムマネージメントの講師をお招きし、時間とは何かを学び、時間を有効に使っているのかを検証し、会員同士が時間について深く掘り下げる事により、更なる時間管理をする事が出来る様になりました。

9月例会では因島消防署の方々をお招きし、いざという時に冷静に対応出来る様、人工呼吸法・AEDの使用方法について学びました。

一年間、会員のレベルアップを目標とし、2009年は、その成果を出せる年と思っております。

▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽

人間力委員会
委員長　新田陽昭

昨年度、人間力委員会は、メンバーのスキルアップと青少年育成ならびに地域社会との交流を目的とした第3回わんぱく相撲因島場所を行いました。

第3回わんぱく相撲因島場所は、地域の皆様や児童及び保護者の方々と強い繋がりがあってこそ開催する事ができたと思います。この大会が今後も地域コミュニティー発展の一助となることを願います。人間力委員会の事業にご協力いただきました委員会メンバー並びに会員のみなさん、高潔な先輩の皆様、わんぱく相撲でお世話になりました皆様、昨年一年間ありがとうございました。

新入会員挨拶

総務会員委員会
四辻　猛

2008年新入会員の10名は、どの様な活動を通じて地域（まち）へ貢献していくかを考え、頑張ってきました。

将来の因島のために若い世代が集まり、住み続けたいと思う要素、郷土愛を育むためにはどうすれば良いか考えていきたいと思います。

各先輩方のご指導のもと、この一年間で身に付けた事を発揮し、そして多くの事を学びながら邁進して参ります。

2008年度　事業報告

※例会行事（『テーマ～サブテーマ』担当委員会名）

1月例会『伝承～40周年記念大会へ向けて～』
担当：総務会員委員会

2月例会『自己を知る大切さ～心の成長のために～』
担当：人間力委員会

3月例会『裁判員制度について～その時、あなたは～』
担当：三役会

4月例会『Time Management～時間の有効活用～』
担当：総務会員委員会

5月例会『一心相伝～45周年記念大会に向けて～』
担当：40周年特別委員会

6月例会『いま、日本国憲法を考える』
担当：三役会

7月例会『問題解決の進め方』
担当：人間力委員会

8月例会『GOLFの花道』
担当：総務会員委員会

9月例会『いざというときに～救急車がくるまでにできる事～』
担当：総務会員委員会

10月例会『超ド級スキルアップ』
担当：人間力委員会

11月例会『Vision～わんぱく相撲因島場所の未来について～』
担当：人間力委員会

12月例会『Let's 伝joy～めざせスーパーJCマン～』
担当：総務会員委員会

JCボックス

風をよむ

よく映画やドラマ等で若者たちがドライブをして、最終的に海へたどり着くシーンがある。それは海より先へは進めないこと。つまり行き止まりを目指し、収まりきらない心に終止符を打ちたいからではないだろうか。

しかし近年、様々なアスリート達は簡単に海をも越え活躍の場を海外に移している。評論家の中には国の宝が失われ、国内での競技が衰退していく等と危機感を口にするのであるが、様々な困難に立ち向かい、様々な人種と日本人が自然に交じり合う姿を目にする度に、私は期待に胸を膨らませているのである。

新入会員からあなたへのメッセージ

昨今の景気後退や政治の混乱が取り沙汰されるなか一年間JCの活動を通じ感じたことは、他人の物差しで測られるのではなく、自分の尺をしっかり持つ事です。今後も成長し地域の人々に理解してもらえる活動をして行きたいと思います。

Message

本紙では皆さんからの投稿を募っています。
地域の身近なご意見・ご感想、またJCに対するご意見・ご要望を是非お聞かせ下さい。
お待ちしております。

社団法人　因島青年会議所
〒722-2323
広島県尾道市因島土生町1809-20（因島商工会議所ビル内）
TEL（0845）22-6116　FAX（0845）22-8017
URL:http://ww4.tiki.ne.jp/~insei
E-mail:insei@mx4.tiki.ne.jp